

学校法人斐川コア学園
出雲コアカレッジ

(1) 教育理念

本校は、「学生第一」を基本理念とした教育を提供し、情報処理技術者、保育士・幼稚園教諭、あるいは事務管理者としての専門的な知識、技術を習得するとともに、豊かな人間性を涵養し、社会に貢献できる「創造的人間」の育成を目指す。

(2) 教育方針

本校では、学生が主体的に学ぶ「アクティブラーニング」を大切にし、教員と学生が一体となった双方向対話形式の授業を展開する。また、実習をはじめとする体験活動への取組等について納得のいく指導助言を行い、人間性の向上を図るものとする。

(3) 教育目標

1. 専門的な技術修得や実習・演習をとおして二つ以上の高度な資格取得(ダブルライセンス)に努める
2. 実践力を養い職業意識を高め、積極的な就職活動を行う
3. 地域との連携を深め地域社会に貢献できる人間を目指す

学科・コースの目標

医療ビジネス科

一般企業に必要な経理知識を学ぶと同時に医科・歯科医院、病院、薬局などの医療機関に必要な保険などの専門的な事務処理の技術を身に付けます。

医療事務職技能認定医科・歯科、調剤、秘書検定、簿記検定、コンピュータ関連の資格を取得し、病院や医院、歯科医院、薬局への就職を目指します。また、これからますますニーズが高まる医師事務作業補助技能認定試験合格も目指します。

情報システム科

ITビジネスコース

一般に市販される多種のソフトウェアパッケージを使用する機会を提供すると同時に、就職後の企業で利用する可能性のある設備に触れる機会を体験し、コンピュータ関連の広範囲利用技術とビジネスに必要な簿記の知識を持った人材の育成を図ります。

ITパスポート試験・簿記検定合格を目標とし、Webクリエイター能力認定試験取得も目指します。また、以上のようなコンピュータ関連資格や技能、簿記の知識を最大限に活用できる企業、会社の事務系職種への就職を目指します。

システムエンジニアコース

コンピュータソフトウェア開発のためのOSの知識、C言語、JAVA、Rubyなどの開発言語、開発ツールの使用方法等、極めて高度なコンピュータ関連知識、技能を学ぶとともに、実習を通して実践的な開発手法も身につけます。

基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、C言語プログラミング能力認定試験、Ruby技術者認定試験合格を目指します。また、上記の多彩な資格、技能を利用して、IT企業の最先端で活躍するプログラマー、システムエンジニアを目指します。

こども福祉科

1. 子どもの養護と教育に携わる者として、温かい人間性と社会人としての基礎力を身につける。
2. 乳幼児の保育について基礎理論を習得し、健全な発育、発達と福祉を保障していこうとする自覚と専門性を身につける。
3. 専門的な技術の修得や実習・演習をとおして、保育者としての実践力を身につける。
4. 地域との連携を深め、自らの役割を自覚し、地域に貢献できる保育力を身につける。
5. 子どもとその家族を支援するために、それらを取り巻く環境を多角的に分析する能力と問題を解決する能力を培う。

教 職 員 紹 介

1. 常勤職員

千 葉 直 樹	理事長
山 岡 雄一郎	校 長
勝 部 葉 子	事務長
勝 部 真 里	事 務
飯 塚 香	事 務

医療ビジネス科・情報システム科

佐々木 和歌子	学科長
伊 藤 剛	
福 間 理 恵	
坂 根 陽 介	
西 尾 直 子	
原 拓 海	

こども福祉科

舟 木 賢 治	副校長・学科長
岡 崎 由美子	
落 合 美貴子	
持 田 陽 子	
久保田 智 子	

2. 非常勤講師

山田博子	華道担当
秋田由里子	情報担当
渋谷勇三	医学概論担当
鐘築司	コンピュータ会計担当
野々村修一	商業簿記他担当
福谷紀子	情報処理試験対策他担当
鶴岡建二	Illustrator 実習他担当
町田知子	データベース実習担当
森山典子	茶道担当
松本好美	ビジネスアプリケーション実習他担当
橋本和幸	実習補助
中谷治規	薬学概論担当
赤浦佐依	子どもの健康と安全担当
石田和也	体育基礎 体育実技担当
トラビス ジョーン	英語担当
曾田裕司	こども福祉科情報担当
鶴永陽子	子どもの食と栄養担当
原広治	障害児保育担当
原田理紗子	音楽基礎 I II 担当
平野美緒	子どもの理解と援助担当
廣江潮美	造形表現 I II 担当
三島修治	特別ニーズ教育論担当

組 織 図

